令和２年１月５日発行　毎月１回５日発行　オイスカ通信 684 号　昭和 42 年 12 月 27 日　第三種郵便物認可　別紙

公益財団法人 オイスカ

# FURUSATO！ １月号

～オイスカ四国のふるさとづくり～

## 新年の挨拶

四国支部　会長　泉　雅文

新年明けましておめでとうございます。みなさまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと存じます。

さて、昨年は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、様々な場面で大きな影響を被った年でした。四国支部におきましても、各種行事や研修生との地域交流活動など、その多くが開催できず、やりたいことが思うようにできない状況が続き、閉塞感や、欲求不満を感じる年となりました。

しかしながら、様々な制約を受けながらも手探りで可能な範囲での活動を行ってきた中で、四国研修センターは、「四国の宝」であるということを再認識したところです。研修センターあっての四国支部であるという原点に立ち返って、研修センターを支える支部としてこの試練を乗り越えていこうではありませんか。

オイスカは60年前から「持続可能な開発目標（SDGs）」の先駆け的な取り組みを行ってきました。研修センターを含めた様々な活動は、会員の皆様の会費によって支えられています。この活動を支えるためには、会員拡大が是非とも必要です。会員1100名達成へ向けて、本年も努力したいと思います。

本年もご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げて、年頭のご挨拶といたします。

## 四国研修センター所長　小野　隆

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、幸多き新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は、四国研修センター（以下、センター）の事業全般にわたり大変お世話になり、誠にありがとうございました。本年もよろしくご支援ご協力をいただけますよう、お願い申し上げます。

さて、昨年はコロナ禍によりほとんどの行事やイベントが中止、若しくはリモート開催になり、センターの人材育成事業にも影響が多々ありました。

特に、四国支部の傘下である九推進協議会の総会がすべて中止ということで、会員様と研修生の交流の場がほとんど閉ざされてしまいました。そういう状況の中で、研修生の意見を尊重し、6月に支給された特定給付金を活用して7月に富士山の森づくりのボランティア活動、京都探訪、中部日本研修センターの研修生との交流等を実施しました。たいへん有意義な研修になりました。

現在も新型コロナの感染拡大により、帰国出来ない研修生もいます。また、本年入所予定の研修生も今のところ来日の予定が立っていません。早く収束して、例年のように研修が実施出来るよう祈るばかりです。

何はともあれ、本年は会員の皆様といろいろな交流が出来るよう一生懸命、努力をいたしますので、よろしくお願いいたします。

## 退職挨拶

四国支部　事務局次長　池田　浩二

会員はじめ支援者の皆様には何時も大変お世話になっておりまして心より厚く御礼申し上げます。

私儀、令和２年12月末日付で公益財団法人オイスカを退職いたしました。昨年11月に作成した令和３年度の計画案では、私が四国支部事務局に関わる業務を半減し外国人職員だけでは連絡・調整等が難しそうな四国研修センター農場部門を手伝うつもりだったので退職しなければならなくなり無念ですが、在職中に皆様から頂戴しました数々のお言葉やご親切は本当に有難く嬉しく、私にとりまして心の財産となっています。重ねて、心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

四国研修センター　副所長　矢野　耕平

この度12月末でオイスカを退職することとなりました。

オイスカは2004年からボランティアとして勤務し、農業担当、責任者、研修課長を経て、副所長まで務めることができました。JICA受託研修があった時から現在まで目まぐるしく変わっていく環境で、自分なりに精一杯やってきました。十分な働きができていたかどうかは定かではありませんが…。

ここで研修生と接して指導をしていた側ではありますが、こちらも研修生から研修生の国こと、指導方法、地域開発など多くのことを学びました。

また、会員の皆様との関りも多くの得たものがあります。正直やり切ったとは思っておらず、まだまだ道半ばでの状況ではありますが、ここで区切りをつけることにしました。

退職後は、変わらず綾川町で専業農家として励んでいく所存です。自分の農業がどこまで通用するのか、また研修生も帰国後、頑張っている有機農業が、自分自身ではどのような型になるのか実践して良いモデルファームを作りたいと思います。圃場はオイスカの周りにありますので、もしかしたら目にすることがあるかもしれません。

ここでの皆さまとの出会いが一番の収穫です！大変お世話になりました。

## １月の予定

| 月日 | 曜日 | イベント名 | 主催・協力 | 場所 |
|---|---|---|---|---|
| ２日 | 土 | 技能実習生入国 | 四国研修センター | 関西国際空港 |
| ４日 | 月 | 仕事始め | 四国研修センター | 四国研修センター |
| ８日 | 金 | 神社参拝（初詣） | 田村神社、冠纓神社 | 田村神社、冠纓神社 |
| 13 日 | 水 | 支部常任幹事会 | オイスカ四国支部 | 四国研修センター |
| 14 日 | 木 | 全体会議 | 四国研修センター | 四国研修センター |

「FURUSATO！」１月号　発行
公益財団法人　オイスカ四国研修センター
〒761-2103　香川県綾歌郡綾川町陶 5179-1
TEL　087-876-3333　FAX　087-876-3334
E-mail; oiscastc@oisca.org

OISCA × VALUE BOOKS
古本で！
「子供の森」計画サポートプロジェクト

# ★研修の集大成★

## 表敬訪問

12月1日（火）、お世話になっている方々へ表敬訪問してきました。始めにセンターの地元、綾川町の前田町長を訪問しました。町長とは、研修生が来日して間もない2月に開催された綱引き大会に参加した時の話で盛り上がりました。次に香川県庁を訪問し、浜田恵三知事に面会しました。研修生から帰国後の活動予定を発表し、緊張のあまりうまく話せない研修生もおりましたが、浜田知事からは温かい激励のお言葉をいただき、研修生はみな喜んでおりました。最後に、オイスカの評議員でもあられる四国電力の佐伯勇人会長を訪問しました。佐伯会長からは、日本で驚いたことや香川で美味しかったものなどについてのご質問があり、冬の寒さにも夏の暑さにも驚いたことや肉うどんがとても美味しかったなど、思い思いの感想を述べました。会長からは記念品として徳島県の藍染の扇子を頂戴し、研修生は藍染の体験をしていたこともあり、大喜びでした。お忙しい中にもかかわらずご対応下さった皆様、ありがとうございました。（安部）

## 冠纓神社清掃

12月10日（木）、センターの近くにある冠纓神社の清掃に、研修生と一緒に行ってきました。冠纓神社は、四国研修センター発祥の地でもあり、現在、敷地内には記念碑が建てられています。今年で52年目の四国研修センターですが、この神社の歴史はさらに古く、古来より残る鎮守の森は香川県の自然記念物にも指定されています。

豊かな森がありますから落ち葉の量もかなり多くなり、その落ち葉の掃き掃除をしてきました。私達にとっては、毎年のお正月には参拝させていただき、研修センター設立当時に思いを馳せて1年の始まりとする大切な神社です。しっかりと掃き掃除をしてきれいにすることができ、職員も研修生も晴れやかな気持ちになりました。また令和3年のお正月には参拝させていただき、感染症に悩まされることのない1年となるようにお祈りしたいと思います。（安部）

## ピザパーティー開催

12月13日（日）、綾川推進協議会の三好東曜会員が当センターに来て頂きピザを振舞ってくれました。三好会員は、軽トラックに窯を構えた移動式ピザ窯でオーガニックピザを作って頂き、研修生と共に頂きました。研修生はピザを自分でトッピングすることができ、またこの窯は薪を使って作り、研修生も良い経験になりました。焼くのも3～4分程度で作ることができ、研修生もそれぞれ思い思いにピザを作っていました。またこのフードトラックはマレーシアでは見たことがなかったです。

三好会員からは最後に皆のために歌を歌って頂きました。

研修生は帰国前ということもあり、よい思い出を作ることができました。また来年も良い関係を続けたいと思います。（ビアン）

それぞれ思い思いにピザをトッピングしていきます。

## 令和2年四国研修センター修了式

12月8日（火）、今年の研修生の修了式を執り行いました。コロナ禍ということもあり、多くの方の参加を控えさせてもらい、少人数での開催となりました。

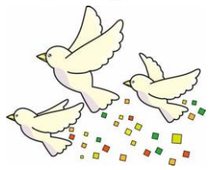
来賓では香川県知事公室長尾崎英司様より祝辞を頂き、研修生のメレが帰国後の豊富や在日中のお世話になった方々への謝辞を述べました。1年間の発表ではエーとネモチがどのような研修をして、自分たちが何を得たのかしっかりスピーチしました。

1時間という短い修了式ではありましたが、参加していただいた方々に研修生の節目をお祝い頂きました。

1年を通して、外部との接触が少ない中、センター内の研修を重点的に行い、例年とは違った成長を見せられることができました。

研修生はコロナ禍の影響で現在2名の研修生のみ帰国し、残りの3名は帰国便待機中となっております。フライトが決まり次第、順次帰国予定となっております。このような状況でも気持ちは切らさず、まずは日本のお正月を体験します。（矢野）

研修は修了しましたが、日本にいる間は時間を大切にして、色々と勉強していこうと思います。



## 中部日本研修センターと合同研修 ～広島視察旅行～

11月24、25日の2日間、中部日本研修センターの研修生と広島県外部研修を行いました。24日は、原爆資料館と平和記念公園へ行きました。研修生達は、英語や母国語でのガイド音声を聴きながら、当時の写真や展示物をみて戦争の悲惨さを知り、同時に語り部の橘さんの説明を聞きながら、平和の大切さも実感することが出来ました。夜は道中200mほどのイルミネーションを堪能しました。

25日は、宮島へ行きました。厳島神社までの大通りにはいろいろなお店が並んでいて賑やかでした。厳島神社では、海の上にある建物にびっくりする研修生もいました。出来立ての「もみじ饅頭」を頂くことが出来ました。

今年は、コロナ禍で広島の研修も実行できるか不安でしたが、広島県支部の皆様の御協力があって行うことが出来ました。本当に有難うございました。（金澤）

毎年お世話になっている、橘先生より原爆の被害、広島の復興の思いを語って頂きました。

もみじ饅頭を頂きました。お好み焼きなど広島の名物はたくさんあります。